

〒184-8511 東京都小金井市桜町 1-2-20 / TEL042-383-4111 (代) [http:// www.sakuramachi-hp.or.jp/](http://www.sakuramachi-hp.or.jp/)

基本理念

私たちはキリストのように人を愛し 病める人、苦しむ人 もっとも弱い人に奉仕します

基本方針

1. 地域医療機関と強い連携を保ち、地域に根ざした信頼される病院運営をめざします。
2. 全人的（身体的、精神的、社会的、霊的）ケアを行います。
3. 全職員のよいチームワークによる患者さん中心の医療を行います。
4. 常に自己研鑽に努め、質の高い、安全・安心な医療を提供します。
5. 患者さんの訴えに誠心誠意耳を傾けます。

平成24年度の病院運営について

病院長 小林 宗光



平成19年度より診療内容の充実を図りながら取り組んできました業務改善や経営健全化への取り組みも5年目を迎えます。「目標の達成には職員一人一人の努力と協力が欠かせない、そして将来を見据えて立ち止まる

ことなく歩み続けなければならない」と今、痛切に感じているところです。桜町病院では今年度は6つの運営の重点目標を決めて取り組みを始めました。概略を説明します。

医療の質の向上を図り、患者満足度の高い医療を実践する。

医療の質の向上を図り、安全な医療、患者の視点に立った医療の提供が我々の最も大事な使命です。診療については内科の外来時間を延長します。4月から内科医を二名増員しましたので内科の午後外来（受付時間13：30～15：00）を始めました。待ち時間の軽減を期待しています。23年度の桜町病院の手術件数は2年前比較すると約2倍に増加しました。手術室の器材・環境の整備、関連マニュアルの見直しを行い医療安全についても配慮しました。整形外科では侵襲の小さい内視鏡下手術を今年度から実施することになっています。検査部門では昨年度に超音波診断装置を検査科に一台増設して患者さんの予約待ちの緩和を図りました。当院では循環器、腹部、体表などの超音波検査を日本超音波医学会認定超音波検査士が行っています。また現在使用中のCTは購入からまだ三年半ではありますが5月には更に精度の高い機種に更新いたします。

医療安全への取組みについてもインシデントレポートの提出の徹底、医療安全の研修や訓練を通して、今後も計画的に職員の安全意識を高めていきます。

療養環境の整備については、4月下旬にまずは一部の病室から病室の改装を行います。リニューアルした病室はシックな落ち着いた雰囲気になる予定です。また4月から入院セット（パジャマ、タオル、その他の日用品やオムツ類など）を導入しました。患者さんの衣類の洗濯や急な入院の際のご準備などのお手間を軽減できるのではないかと思います。入院中の食事についても検討しています。当院はご高齢の方の入院も多いことからペースト食の方に、味も軟らかさもペースト食と同じですが、素材がわかるように形を再現したソフト食の提供を考えております。少しでも食欲が増していただければと期待しています。

現在の診療情報システムはすでに6年余り経過しているため、今年度から更新に向けた取組みを始め、平成25

年度早々には新しいシステムを稼働させ、念願であった会計の番号表示もこの時導入する予定です。

患者サービスについては、投書や患者満足度調査で示された患者の声に適切な対応を進める一方、今年度も投書や調査による患者の声を病院運営に生かしていきます。そして地域医療連携室の機能を強化し、患者さんが「何でも相談できる」窓口にしていきます。

経営の健全化に向けた取り組み

病床利用率を改善することが最も重要な、急を要する課題です。職員一人一人の協力が欠かせません。4月からの診療報酬・介護報酬同時改定に合わせた対応や、支出削減対策も引き続き進めていきます。必要な人材を確保し、良質な医療、患者満足度の高い医療を提供し、患者さんからの信頼を得ていくことが経営の健全化への道と考えています。患者の視点に立った医療を提供するため、そして働く職員のモチベーションを下げないためにも、十分な看護師の確保が不可欠なことから、引き続き人員確保に努めていきます。

院内組織体制の整備と職員の資質向上のため研修環境の充実

患者満足度の高い、職員満足度の高い医療を展開していくためには、スタッフの育成は引き続き重要なテーマの一つとして考えております。職員のスキルや知識を維持し高めていくために必要とする全職員対象の安全管理、感染管理、医療倫理、患者の権利、個人情報、接遇などに関する研修、各部署、各委員会等主催の研修、院外のセミナーや学会への参加を計画的に進めます。

患者さんが心に痛みや苦しみを抱えているとき、「話を聴いてくれる人、理解してくれる人、傍に居てくれる人」に我々がなるといふケアの姿勢が桜町マインドだと思います。これを育成していくためスピリチュアル・ケアの講演会やワークショップを計画しています。

職員一人一人が、自分の仕事に誇りを持ち、桜町病院を支えているのは自分だという意識を育成していくために、今の病院を知ること、これからの病院についての意見が言えることが必要だと考えます。病院の運営方針、運営状況、重要事項等について職員への周知を図り、運営会議や関連の委員会の中で共通認識を高めるよう努めるとともに、院内報でも周知します。そして職員の提案・提言を吸い上げ活かす機会の一つとして2月に導入した職員提案制度が有効的に機能するよう願っています。

最後になりますが7月には病院機能評価の受審（更新）です。受審準備を進めていく中で業務遂行の基盤システム整備や業務改善が実現され、医療安全意識や連帯意識の醸成ができることを期待しています。

医療安全管理委員会は医療安全管理対策を総合的に企画、運営、実施するために、毎月1回開催しております。具体的な取組みは、職員から提出されたインシデント・アクシデントレポートの中から、対策の必要なものをピックアップして、提出先にカンファレンスを指示したり、新しく取り入れる安全システムについて検討したり、研修の実施について話し合ったりと、医療安全管理についていろいろと検討しています。実践につながる細かい事は、下部組織として設置されている医療安全小委員会が担い、計画・広報・実践をしています。医療安全小委員会で、年間の計画を立案し、医療安全管理委員会で承認されたら、順に計画を実施して、経過と実施評価を、また医療安全管理委員会に報告するというシステムをとっています。年間計画には、①研修計画②緊急参集訓練③レポート分析④院内パトロール⑤広報活動⑥計画停電⑦救命処置訓練などがあります。これ以外にも、災害対策や患者相談窓口などについても検討しております。①研修計画では、年に1回は外部講師に研修依頼し、それ以外にも2回程度院内研修を計画します。②緊急参集訓練は、病室以外などの医師が近くにいない環境で、患者さんや面会者が急変したところを発見したり、院内で暴言・暴力を目撃した場合に、一斉放送をして人手を集めるために、電話番号・文言を統一して決めたコールがあります。そのコールの周知徹底が、出来ているかを確認するためにも訓練を実施しています。③レポート分析では、インシデント・アクシデントレポートを数的分析して、そのデータを広報誌に載せて周知したり、研修会を計画し、そこで発表するなどして、職員にフィードバックしています。また、重要と思われる案件については年間5～6ケースは、内容を分析し、対応策を検討し、これも研修

会を設けて、職員にフィードバックしています。インシデント・アクシデントレポートは、当院の規模だと年間7～800件の提出が望ましいと言われていますが、月に60件の提出を目標としています。年々、リスク感性が高まってきていると思っており、レポート提出数も少しずつ増えてきています。更に、提出数をアップさせるために、広報誌を定期的に発行し、啓発活動を進めています。この広報誌は、東京都福祉局などで発行される、最近の安全管理情報や季節性の感染症の情報などを、幅広く掲載しています。その広報誌に、当院で発生したアクシデントがあれば、速やかに掲載し、注意を促すようにしています。

定例として実施している取組みのほかにも、針刺し事故防止機能付きのサーフロー針の導入や逆流防止機能の三方活栓の導入など安全管理に配慮した医療物品の導入など、また、指示・実施伝票の改訂・周知徹底なども並行して取り組んでいます。

医療安全管理マニュアルを見直し、改編する事も医療安全管理委員会の大切な業務の一つです。特に今年は、大掛かりな見直しを実施し、改編を現在も進めています。それに伴い、医療機器安全使用手順書や医薬品安全使用手順書などの見直し、整備も実施しています。

医療安全管理委員会で、関わる項目は多岐に渡っており、取組みをすべて挙げるのは難しいですが、日々の業務の中から当院ではどんな医療事故のリスクが潜在しているのかを、レポートとそのヒアリングから把握して職員にフィードバックし、職員全体でリスクを予防できるように考えていく事が大事だと考えています。

診療報酬改定とその影響

医事課長 小西 貴雄

今春2年に1度行われる、診療報酬改定があった。この診療報酬の改定は、国のこれからの医療の社会保障対策を考慮したものになっている。今回の改定も2025年に医療と介護の提供体制を構築することを見据えた第一歩と言うべき内容となっている。世の中の医療施設はもちろんだが、桜町病院も改定の影響を受けることになった。

まずは、入院基本料の増点である。増点は3月以前と比較すると11点のみだが、この意味合いはとても大きいと思う。近年厚生労働省は、基本料に何らかの行為の包括をして増点を改定の度に行ってきたが、今回は、栄養管理加算ならびに褥瘡管理加算を包括しての入院基本料の増点となっている。入院基本料を算定するために必要条件と追加された形に変更になったと理解して頂いた方が解り易いと思う。

次に当院の特色の一つの緩和ケアであるホスピスについては、入院当初の30日間については、3月以前と比較して1,011点の増点、60日以内が511点の増点となっている。これは、国

の政策方針の一つに緩和ケアに対する、入院病床を増床したために今回の大幅な増点となっている。

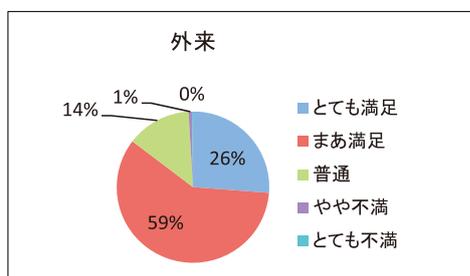
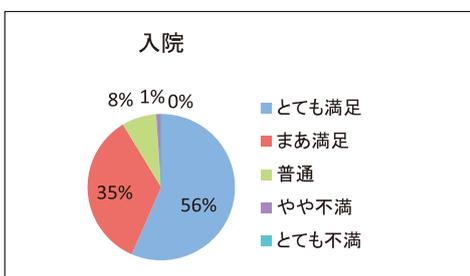
外来については、複数科再診料34点が新設されたことは当院にとっても意味は大きいと思う。3月以前までは、当院を利用する再診の方々は、複数の科にそれぞれの疾病については診察受けても診察料という基本の料金は1科しか算定出来なかったのであるが、今改定により2科目までだが医師が働いた事による基本料の支払いが制度化されたことは、良かったと思う。再診の方々は支払いが多くなることには、違いないのですが医師の働きを評価する観点から御理解いただきたいと思います。

改定の変更点は、細かいのを挙げたら無数にあります。それぞれの変更は、国の社会保障の考えによって構築されており、当院も流れ変わり行く社会制度を読み取りそれに向けて医療体制を構築し地域の皆様へ提供できればと思います。

平成23年度患者満足度調査結果（総合評価）

昨年度、入院・外来患者さんに満足度調査を行いました。当院の施設・設備、待ち時間、職員の言葉使いや態度、診療技術などについてご質問させていただき回答をお寄せいただきました。別グラフのとおり、入院・外来ともに総じて高い評価をいただきました。一方、大変厳しいご意見もいただい

ております。今後とも、少しでも患者さんに安全で安心な医療を提供していけるよう、職員一同研鑽を積むとともに、サービスの向上に心がけていきたいと考えています。



	(人)	
	入院	外来
とても満足	52	113
まあ満足	32	255
普通	7	59
やや不満	1	3
とても不満	0	1
合計	92	431

職場紹介 南2階病棟

南2階病棟師長 川原田 由喜子

南2階病棟は女性病棟です。産科、新生児、婦人科、亜急性病床で編成されている病棟です。

産科は通院している妊婦さんが安心して出産ができるように24時間体制で臨んでいます。母親学級は全3回のシリーズで講義やゲームを通して、妊娠期から出産、育児について楽しく学べるようなクラスとなっています。また、産後のお母さんの集い「まなごし」では、当院で出産された産後6か月までの親子を対象に仲間作りを応援し、皆様の子育てを見守る支援を行っております。また、自分らしいお産ができるように「パースプラン」を考えていただき、できるだけご希望



に添えるようにしたいと思えます。そして熟練した医師、助産師が新たな生命の誕生のお手伝いをさせていただいています。

新生児は小児科医が退院までしっかりとサポートいたします。退院後も小児科外来で診察やご相談にも応じています。

お薬の保管方法について

いつも薬はどこに置いてありますか？そこに置いてあって大丈夫ですか？薬は、正しく服用することも、保管管理も大事です。

お薬は、いつも決まった場所に保管しましょう。

薬の保管の三大原則は、光、温度、湿度の3つを避けることです。

薬は、日光のような強い光を受けると変質しやすく、温度が高くても変質しやすくなります。湿気が多い場所では、カビや、水分により変質することもあります。

温度変化の少ない冷暗所がベスト、缶に入れて保管するのもおすすめです。

しかし、保管場所に最適とって普段、目にしないような場所に薬を保管して、飲み忘れないように。

余ったお薬は、どうしていますか？

もう服用していないのに、「この薬もしかしたら使う時があるかも」という気持ちで捨てきれずためていませんか？不用になった薬は、誤って飲まないように、早めに廃棄しましょう。

廃棄についてご不明な点は「薬剤師」にご相談ください。

薬剤科長 池淵 剛



良い食べ合わせ

食べ合わせというと天ぷらとすいかなど昔から言われてきた「悪い食べ合わせ」を思いうかべるのではないのでしょうか？

では反対に良い食べ合わせを知っていますか？

それはからだに効率よく栄養を吸収できる組み合わせのことです。

せっかく食べるのですから、食材の持つ力を最大限に生かしてみたいかがででしょうか？

組み合わせ例	効果	献立例
カルシウム+ビタミンD 牛乳・チーズ+鮭	カルシウムはビタミンDと一緒に摂ると吸収率UP	鮭入りグラタン
カロチン・ビタミンA+油 人参・ほうれん草+サラダ油	油と一緒に摂ると吸収率UP	ほうれん草のソテー 人参グラッセ
鉄+たんぱく質 ひじき +油揚げ ほうれん草+卵	植物性の鉄分はたんぱく質と一緒に摂ると吸収率UP	ひじきと油揚げの煮物 ほうれん草の巣ごもり卵
糖質+食物繊維 ごはん・麺+きのこ・納豆	食物繊維と一緒に摂ると糖の吸収を穏やかにする	納豆ごはん きのこパスタ
ナトリウム+カリウム 醤油・塩+野菜	カリウムは排泄時にナトリウムと一緒に排泄	野菜サラダ

料理をするとき、食事を選ぶときちょっと工夫してみてください。

栄養科長 松尾 敦子

婦人科では主に婦人科良性疾患に対する手術を行っておりますが、開腹手術や膣式手術はもちろん、特に患者さんのご希望にお応えできるように低侵襲の手術（内視鏡を使い、より小さい傷で美容面に優れた短い入院期間での治療が可能な手術）に力を入れております。

対象となる婦人科良性疾患は、

子宮病変・・・子宮筋腫、子宮腺筋症、子宮内膜ポリープ、中隔子宮

卵巣病変・・・良性卵巣腫瘍各種、チョコレートのお腹

卵管病変・・・卵管瘤腫、卵管瘤腫瘍、卵巣出血

不妊症精査（癒着剥離や子宮内膜症病巣除去など）

当院で行っている婦人科手術は、

開腹手術・・・単純子宮全摘術、付属器摘出術、子宮筋腫核出術

腹腔鏡下手術・・・腹腔鏡下卵管摘出術、腹腔鏡下卵巣摘出術、腹腔

鏡下卵巣腫瘍摘出術、腹腔鏡下付属器摘出術、腹

腔鏡下筋腫核出術、腹腔鏡下筋腫式子宮全摘術

子宮鏡下手術・・・子宮鏡下筋腫切除、子宮鏡下ポリープ切除

手術を受けられる患者さんの不安・苦痛の軽減に努め安心して入院生活を送られるよう援助いたします。

亜急性期病床は8床あり回復期のリハビリを行っています。入院前の生活へ少しでも近づけるよう援助しています。

医師はじめ職員一同、新生児から老年期まで幅広い年齢に対応できる知識を持ち、患者さんに満足してもらえるような医療を提供したいと日々奮闘しています。



トピックス

聖ヨハネ会合同入職式

平成24年4月2日(月)、聖ヨハネ会構内の桜の蕾が膨らみだした穏やかな新年度の初日、桜町病院別館講義室において「平成24年度聖ヨハネ会合同入職式(写真)」が行われた。式の冒頭渡邊理事長から聖ヨハネ会の理念を肝に銘じそれぞれの場所それぞれの立場で実践してほしい、聖ヨハネ会の医療、障害、高齢の各施設が横の連携をもって理念の実現に当たってほしいとのお言葉をいただきました。今年度は総勢45名のうち桜町病院には23名の仲間を迎えた。



新入職員研修会

4月2日午後から4月4日(4日は看護師のみ)にかけて平成24年度新入職員研修会を開催しました。研修会の冒頭、院長は訓示の中で桜町病院の理念を共有し桜町病院を好きになってほしいと述べられた。引き続き医療倫理や個人情報保護、医療安全管理等に関する講義が行われた。4日の看護師研修会では実技を伴った研修(写真)を行った。新入職員は熱心に講義内容に耳を傾けていた。



医療倫理・患者の権利院内研修会

平成24年2月13日(月)、弁護士棚瀬慎二氏による医療倫理・患者の権利研修会(写真)が大勢の医師始め多職種が出席し開催された。難しいテーマであり所々に難解な法律用語も出されましたが、多くの判決事例を引用し大変わかりやすく説明していただいたため、同テーマに関する職員の理解が深化したのではないかと感じる。



院内研究発表会

平成24年3月10日(土)、院内研究発表会が開催された。今年は栄養科、放射線科、検査科、手術室、南3階病棟からの5題の研究発表が行われた。業務改善として工夫したものの、仕事の質を高めるためのもの、チームの重要性を意識したものなど、何れも工夫を凝らした内容の発表でした。最優秀賞には手術室の「脊椎手術の保温を考える」(写真)が、優秀賞には栄養科の「ソフト食導入に向けての取り組み」が選ばれた。今回はこの他に特別賞として南3階病棟の「看護師が『もしどら』を読んで取り組んだ10か月が表彰された。



外来診療担当表

平成24年5月1日現在

診療科名		月	火	水	木	金	土
内科	新患	楠本	高原	林(志)	平嶺	名倉	(交代制)
		平嶺	坂田	瀬口	高倉	林(志)	(交代制)
	午前	林(志)	佐藤	竹内	竹内	楠本(10:00~)	柏本(第2・5)
		岡本	土持	楠本	古川	土持	後藤
	内視鏡	糸井(月1回)	平嶺	河野(糖尿病)	高原	柏本	
		石井				佐藤	
	新患	高原	林(志)	名倉	瀬口	平嶺(第1・3・5)	楠本(第2・4)
		林(正)	井上	大井(裕)(第2)	井上	柏本	
	午後		佐藤	瀬口	名倉	佐藤	
				福神	高倉	栗原	
内視鏡							
精神神経科	午前	寺田(新患は予約制)	寺田	寺田	寺田	仁王(新患は予約制)	寺田
				森本(新患は予約制)	宮島(新患は予約制)		黄野(再診のみ)
小児科	午前	小林	小林	杉立	杉立	小林	小林
		杉立	山田	山田	山田	杉立	杉立
		山田					山田
	午後	小林	山田	杉立(一般・神経)	杉立	小林(心臓)	
		杉立	町田(一般・アレルギー)		中野		
	町田(第3のみ)						
予防接種	山田	小林	山田	山田			
外科	午前	植木	池野	得津	植木	池野	池野(第2・4)
							植木(第1・3)
	内視鏡			植木	池野		(交代制)(第5)
乳腺外科	午後				伊東	井本(偶数週)	
脳神経外科	午後			石島(紹介患者のみ)			
整形外科	午前	大堀(新患)	柴崎	山口	大堀	大堀	佐藤
		柴崎(予約制)	須藤	増岡	増岡	山口	
		山口					
リハ	午前				補永		
	午後					高橋(最終週)	
産婦人科	午前	向田(利)	高江洲	向田(利)	井坂(予約制)	伊東	高江洲
	午後	高江洲	向田(一)	引場	小島	石川	小野
眼科	午前	大井(禎)	大井(禎)	大井(禎)(第2・4)	大井(禎)	大井(禎)	平岡
	午後			宮本(第1・3・5)			
ホスピス科	午後	林(裕)		林(裕)		林(裕)	
		大井(裕)		大井(裕)		大井(裕)	

休診日 日曜・祝日・年末年始(12/30~1/3)

受付時間 8:30~11:30

午後診のある診療科の受付時間は各科により異なりますので、各科にてご確認ください。

診療時間 9:00~

13:30~

- 月曜日~金曜日の14:00~15:30の間、電話による予約受付を行っております。

電話 042-383-4111(代表)

ただし、一部の科では電話予約は行っていません。

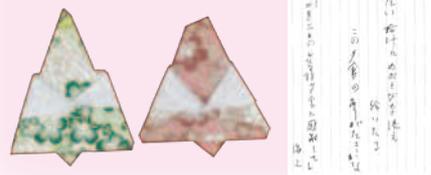
- 精神神経科・ホスピス科は初診・再診とも全て予約制となっております。
- 内科の午後診療は新患以外は予約制となっております。

雛祭りの日の夕食に添えて

折り紙で作ったお雛様のカードを添えてお出したら、患者さんより感謝のお手紙をいただきました。

3月3日のお粥の患者さんの夕食

(献立内容) お粥 潮汁 金目鯛の西京づけ
菜の花のおぼし かぶのうすくず煮
桜もち



編集後記

平成24年は2年に一度の診療報酬改定の年。今回は介護報酬との同時改定である。

政府の漠とした将来構想への方向付けの内容も見られる。病院は少し先を見据えた在り方を考える機会となった。

ところで、あの日から1年、遅々として進まない復興への工程。原発再稼働だけが前のめりで進められているが。平時の対応ではなく、非常事態対応はできないものであろうか。今からでも遅くないと思うが……。(周)

患者さんの権利と責務

患者さんの権利

- 人間としての尊厳を尊重されながら医療を受ける権利があります。
- どなたでも、どのような病気でも平等かつ公平な医療を受ける権利があります。
- 病状と経過、検査や治療の内容について、分かりやすい言葉で説明を受ける権利があります。
- 十分な説明と情報に基づき、自らの意思で医療内容を選ぶ権利があります。
- セカンド・オピニオンを希望される場合は、当院は快く診療情報を提供します。

患者さんの責務

- 病状などに関する情報提供に努める責務
ご自分の症状や健康に関する詳細で正確な情報を医師や看護師等へ提供することにご協力ください。
- 適切な医療行為が提供できるように努める責務
病院内では、他の患者様等に迷惑にならないように静粛を保つとともに、当院職員が適切な医療を行えるようにご協力ください。
- 病院秩序を守る責務
病院内の秩序を守るために、当院の諸規則に従ってください。
- 診療費支払いの責務
病院は診療報酬によって運営されています。医療費の支払い請求を受けた時は速やかなお支払いにご協力ください。